

はねの

Tone Town Hane-no-dai Community Association Bulletin

183号

特集 一年を振り返って

自治会にとって新しい時代の幕開けが来たのかもしれない——区民センター隣の旧斎藤家跡地に「ふれあいスクエア」が誕生、ガラツと景観が変わったこと、そこで行われた夏祭りや芋煮会にネパール人留学生が多数押し寄せたことなどを思い出すと、そんな気がしてなりません。そうであれば、老いも若きもネパール留学生も、住民みんなで協力し、さらにこの「はねの」を盛り上げていく。羽根野台自治会は、その中心的役割を担っていく覚悟です。



旧斎藤家の約3か月に及ぶ工事後、新しい広場（ふれあいスクエア）が誕生



特集 一年を振り返って



参加者600人の夏祭りなんて何年ぶりでしょうか。子供神輿、スイカ割り、輪投げ、盆踊り、花火…皆さんの笑顔が印象的でした。いつまでも続けたいですね。

8・10 夏祭り



血圧・握力・骨密度・口腔機能等の検査、及びその結果を専門の相談員から聞く受診者の表情は真剣そのものでした。

9・29 健康チェック



具がたくさん入った芋煮におにぎり、さらにネパール人留学生が作ったカレーや唐揚げ、どれもこれも美味しい。参加者は大満足の日でした。

11・16 芋煮会



地域安全部、見守り隊、防犯連絡委員等総勢30人が二手に分かれ年末の地域内をパトロール。空き巣やオレオレ詐欺に気を付けるよう呼びかけました。

12・21 防犯パトロール



この一年、ご協力いただきありがとうございました。

区長の「お仕事」って？ ～自治会との関わり～

副会長兼区長 小池正昭

自治会の副会長兼区長に選任されて、4年が経ちました。区長は毎年

4月の自治会総会で副会長の「行政窓口担当」が区長として推薦され、利根町区長会で町長から委嘱されることになっています。

●区長の主なお仕事とは？

ひと言でいえば「地域住民と行政（町役場）とのパイプ役」です。具体的には①町等が発行する印刷物の配布、②住民からの要望事項の取りまとめ、③町が実施する調査などへの協力、④募金などの取りまとめ、が主なお仕事です。

●より具体的な内容は？

①毎月第一金曜日の朝、町から「広報TONE」をはじめ各種回覧物が区民センターに持ち込まれ、自治会が委託している4人の配布委託者とともに仕分け作業を行っています。各委託配布者は一人当たり2000世帯を受け持ち、配布作業をしていた

だいています。

②「道路がひび割れしているので、補修してもらいたい」、「空き家・空き地の雑草を何とかしてほしい」など、様々な要望が自治会を通して寄せられてきます。これらの要望に対しては、現場の写真を添付した「要望書」を町役場の担当課に持ち参し、対処方を要請しています。



町へ提出した要望書

③最近の事例では、3年に一度行われている「地域内の空き家数」を調べて欲しい、という事例がありました。この調査では自治会の会費徴収

データと団地内の地図を活用して回答しました。昨年8月現在で95軒の空き家がありました。また町と共同で行う防災訓練についても町担当課との打ち合わせを行い実施してきています。

④年4回、利根町や利根町社会福祉協議会から募金依頼があり、そのうち2回は自治会の会費から支出。あと2回は各班長が募金活動を行ったものを利根町や社協に持ち参しています。

この他にも、地区の民生委員や防犯連絡員、選挙立会人等の推薦依頼もあり、自治会を通して推薦してもらっています。

このように区長の仕事は多岐にわたっていますが、自治会会長はじめ会長代行・各部長の協力を得る中で何とか「お仕事」をこなしてきています。

「移動スーパー」の場所が4月より代わります！

これまで第一公園で行われていた町が運営する「移動スーパー」（カスミ）は4月より「ふれあい広場」に移して開催されることが決まりました。時間は、毎週月曜日の午前10時40分より約20分間です。

なお、同時間帯はサークルが区民センターを使用するため、竹林側の従来の駐車場に移動車を止めて販売しますので、ご注意ください。



第53回自治会通常総会開催のお知らせ

- 日時 4月6日（日） 10時～12時
- 場所 利根町文化センター（多目的ホール）

防災訓練の実施

2月2日、9時の防災無線からのサイレンを合図に、東京湾北部を震源とする震度7（利根町は6弱）の地震発生を想定した防災訓練を行いました。



自主防災本部の立ち上げ

会員の動向

令和7年2月10日現在

(敬称略)

<入会>

アーチャー 悦子 (26班)
大野 慧 (36班)
作本 元 (34班)

<訃報>

竹山 暉代 (6班)
藪部 文雄 (28班)
櫻庭 國雄 (20班)
市村 捷二 (36班)
青木 敏子 (25班)
大山 政勝 (7班)

謹んでお悔やみ申し上げます。

<会員状況> 令和7年2月10日現在

会員数 613世帯
非会員数 125世帯
自治会不参加 7世帯
世帯数 745世帯

発行/羽根野台自治会

責任者/中野賢三
編集/広報部

自治会では、①執行部による「自主防災本部」の立ち上げ、②各班長は班内の安否確認および建物等の被災状況をメールあるいは電話にて自主防災本部宛に報告を行う。③自主防災本部はその結果を町の「災害対策本部」に報告する。以上3点の取り組みを行いました。その結果36班中20班からの安否状況等の連絡があり、10時に羽根野台地区の状況を町の災害対策本部宛に報告し、

訓練を終了しました
災害はいつ発生するかわかりません。日ごろから防災に対する備えを怠らないように注意しましょう。

ごみ集積所の対応策

現在、20番集積所（羽根野90-28）で、ごみ捨てのルール違反が多発しているため、ポスター2点を作り注意喚起の掲示（写真下）を行いました。また、他集積所でもいくつかの問題が発生しています。ごみは清潔な環境だけでなく、地域の治安にも直結しています。当集積所に限らず、ルールを守り、お互いに気持ちよく過ごすことができる羽根野台を維持しましょう。

(自治会)



20番集積所



※ご意見ご要望がある方は、次のメールアドレスへ

[「hanenodajichikai@gmail.com」](mailto:hanenodajichikai@gmail.com)

R6年4月、女性4人での広報部のスタートでした。自治会メインイベントの夏祭り、猛暑の中の盆踊りに花火はきれいでしたね！
お天気と睨めっこの芋煮会、豚汁おいしかったです。どのイベントにもネパール人留学生を迎え入れ大盛況に終えた事、執行部の皆様方には大変ご尽力いただきました！感謝申し上げます。あつという間の一年間、役員を通じて知り合えた方々と楽しい自治会活動でした。ありがとうございます。

(K)

編集後記